

TKC書面添付シンポジウム2021 を開催しました

TKC西東京山梨会（会長岡野哲史先生）は、「書面添付シンポジウム～必見！書面添付を標準業務として定着させるためのヒントがここにある」を開催いたしました。基調講演講師には、日本金融人材育成会 会長森俊彦先生にお越しいただき、「地域金融の未来」～金融機関・経営者・書面添付実践事務所による価値共創～と題したご講演をいただきました。ウイズコロナからアフターコロナへ中小企業を支援し「未来を切り拓く」には「伴走支援型融資」が必要であり、「金融検査マニュアル廃止」に伴い「金融機関の健全性は金融仲介機能の発揮があってこそ」の実践力が経営トップから現場まで問われております。優良な会計帳簿である書面添付のついた「正しい決算書」でないと「事業性評価」のスタートラインに立てません。書面添付を実践することにより職業会計人の金融リテラシーがアップいたします。とのご講演をいただいております。後半では、森俊彦会長に加え、多摩信用金庫 辻伸敏理事、山梨県信用保証協会 古屋仁専務理事、東京税理士会武蔵府中支部 金成祐行税理士による「信頼性の高い決算書と中小企業支援」のパネルディスカッションを開催しております。当日は山梨県甲府市にメイン会場を置き、その他、東京都多摩地区（八王子、町田、立川、青梅、東村山、武蔵野、府中）と山梨県富士吉田市8か所にサテライト会場を設置し、15金融機関と3団体より116名、TKC会員事務所より102名が会場及びWebで参加しました。中小企業が一番身近な相談相手は、ホームドクター的な存在である顧問税理士であり、中小企業、金融機関、会計事務所の三位一体による課題解決活動の重要性が確認されております。書面添付の更なる認知と普及が期待されております。



基調講演 講師
日本金融人材育成会 会長 森俊彦先生



パネルディスカッションの様子



TKC西東京山梨会 岡野哲史会長



パネルディスカッション コーディネータ
川嶋高行 書面添付推進委員長

2021年11月9日(火) 書面添付シンポジウム サテライト会場

町田支部会場(レンブラントホテル東京町田)



東村山支部会場(東村山市市民ステーション「サンバルネ」)



武蔵野支部会場(大和ハウス工業 武蔵野支社)



八王子支部会場(TKC八王子センター)



立川支部会場(大同生命多摩TKC企業防衛支社)



青梅支部会場(青梅商工会議所)



武蔵府中支部会場(ホテルコンチネンタル府中)



山梨支部会場(ハイランドリゾートホテル&スパ)



司会：吉川滋
書面添付推進委員会副委員長



パネリスト：金成祐行
書面添付推進委員会
担当副会長



閉会挨拶：深沢邦秀
TKC西東京山梨会副会長